

名古屋大学大学院生命農学研究科
森林・環境資源科学専攻（生物システム工学研究室）助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科 森林・環境資源科学専攻 生物システム工学研究室
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>森林・環境資源科学専攻は、森林をはじめとする様々な陸域環境を対象として、それらの保全や再生、および生物資源の管理・生産・利用のありかたを探求し、環境に調和した持続可能な循環型社会の実現に貢献することを目指した教育研究に取り組んでいます。その中で生物システム工学研究室は、生物材料解析学、生命系物理工学、生物材料プロセス工学などの教育を担当するとともに、生物資源および生物圏環境を対象とする先端計測システムや生物資源の利用に関わる新規数理データ解析法の研究を行っています。</p> <p>本助教公募では、上記に関連した研究分野で優れた研究業績をあげつつあり、大学院・学部での研究指導と教育に熱意と責任感、協調性をもってあたる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生命農学研究科および農学部における研究と教育 ・生命農学研究科の運営に関連する業務 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 学部 生物環境科学実験実習、卒業論文研究等</p> <p>(2) 大学院 博士前期課程：生命農学演習、修士論文研究等 博士後期課程：博士論文研究等</p> <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>[勤務地] 愛知県名古屋市千種区不老町</p> <p>[募集人員] 助教（テニュアトラック）・1名</p>

		[着任時期] 2024年4月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募集研究分野	大分類	農学
		小分類	森林科学、木質科学、農業環境工学、農業情報工学
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有する（または取得見込み）であること ・森林・環境資源科学に関連する研究を専門分野とすること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができること	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2023年9月12日～2023年11月10日（日本時間17:00必着）	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書 （3）研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） （4）現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800字程度） （7）過去10年間の研究費獲得状況（科学研究費助成事業（科研費）等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額（直接経費）を明記のこと） （8）大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（400字程度） （9）その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） （10）応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メール	

		<p>アドレス</p> <p>(11) 「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」 (10 その他のリンク先に提示した「様式1」)</p> <p>(12) 論文等の PDF ファイル (主要なもの 10 編程度)</p> <p>[書類送付先]</p> <p>上記の提出書類 (1) ~ (11) を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。</p> <p>メールのタイトルは「森林・環境資源科学専攻生物システム工学研究室助教応募(氏名)」としてください。</p> <p>また、ファイルサイズは全体で 60MB を超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、あらかじめご連絡ください。Eメールでの提出はファイルのサイズが大きい場合、受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。</p> <p>なお、受領確認のメールを返信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールにてお問い合わせください。</p> <p>書類の送付先アドレス (電子メール) : (syseng[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)</p> <p>[問い合わせ先]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科森林・環境資源科学専攻生物システム工学研究室 助教選考委員会委員長 土川 寛</p> <p>送付先アドレス (電子メール) : (st3842[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)</p> <p>[選考内容 (選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。

	<p>・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.htmlの「様式1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p>
--	--